

ごあいさつ

佐賀県立唐津西高等学校
校長 吉山 耕一郎

本日は、ご多忙中の中、唐津西高等学校吹奏楽部第18回定期演奏会にご来場いただき、誠にありがとうございます。

さて、本校は、令和2年度「One Step One Up One Team Nishikou」をスローガンとして、より良いOne Stepを踏む出すためにグランドデザイン（教育目標）を策定しました。この中に、グラデュエーションポリシー（このような卒業生を育てます）として、「人とつながる力を大切にし、情報の取捨選択ができる、確かな人間力を持つ」と「協働の精神を持ち、地元の課題を発見し、地元から信頼される」生徒を育てて卒業させる方針（ポリシー）を作っています。そしてこのグラデュエーションポリシーを達成させるためのOne Upのカリキュラムポリシーとして「双松の力」の9つの力「地域力、発信力、共感力、基礎力、解決力、人間力、表現力、自走力、継続力」を身に付けさせたいと思っています。これらの力の身に付けるためには、本校の教育姿勢である「師弟同行（していどうぎょう）（共育）」が必要です。「師弟同行」はやや古い言葉ですが、先生と生徒が教育的活動を通してともに学びあう、励ましあうという意味です。すなわちOne Teamとなることです。

吹奏楽部も日頃より、本校の生徒の模範となるべくOne Teamとなり、質の高い練習を重ねています。

今年度は、新型コロナウイルスの感染拡大による部活動の制限の他、第17回定期演奏会や各種コンクール等、入学式、新入生歓迎会、まつら同窓会総会などでの演奏中止で部員たちは、確実な情報がなく、先が見えない不安な日々の中、練習を行っていたと思います。しかし同時に、非日常的な生活を送ることで、それまで当たり前だった部活動がいかに大切なものであったか、実感しているのではないのでしょうか。

しかし、このコロナ禍でも実行できる第17回定期演奏会や県吹奏楽コンクール大会の代替の演奏会を本校体育館で6月13日に企画しました。定期演奏会出られなかった今春の卒業生を含む25人で集まった保護者はじめ多くの観客に熱気あふれる感動的な演奏を披露し、多くの賞賛の声をいただきました。また、双松祭・文化祭が中止となりましたが、体育祭時において書道部とのパフォーマンスは新しい文化祭の方向性を示してくれました。これらの活動に対して生徒一人ひとりが前向きに努力しており、その積み重ねが、人としての成長に繋がっていると確信しています。

本日は、吹奏楽部の諸君が、今までの成果を遺憾なく発揮ししてくれると思います。日頃の活動にご協力及びご理解を頂いている保護者の皆様、西高の友人たち、地域の方々に感謝の気持ちを伝えるために、精一杯努力、練習を積み重ねて参りました。この演奏会に来られた方が、少しでも日ごろのストレスが解消され、心地よい気分になれば幸いです。

最後になりましたが、今後とも唐津西高等学校の教育活動、とりわけ吹奏楽部に暖かいご支援をお願いするとともに、ますますの本校の吹奏楽部の活躍と発展を祈念いたしまして、本定期演奏会のご挨拶とさせていただきます。